

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 2015年2月10日から2035年1月10日まで (年2回決算型) 2015年4月10日から2035年1月10日まで	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型) 第16作成期

第89期(決算日2022年8月10日) 第92期(決算日2022年11月10日)
第90期(決算日2022年9月12日) 第93期(決算日2022年12月12日)
第91期(決算日2022年10月11日) 第94期(決算日2023年1月10日)

(年2回決算型)

第16期(決算日2023年1月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込		債 券 組入比率	純資産 総 額
			分配金	期 中 騰 落 率		
第12 作成期	65期(2020年8月11日)	円 8,193	円 45	% 5.0	% 92.6	百万円 41,457
	66期(2020年9月10日)	8,324	45	2.1	93.0	39,999
	67期(2020年10月12日)	8,342	45	0.8	92.0	38,891
	68期(2020年11月10日)	8,200	45	△1.2	90.2	36,787
	69期(2020年12月10日)	8,162	45	0.1	91.7	35,796
	70期(2021年1月12日)	8,187	45	0.9	91.6	35,353
第13 作成期	71期(2021年2月10日)	8,168	45	0.3	90.9	34,610
	72期(2021年3月10日)	8,347	45	2.7	89.7	34,588
	73期(2021年4月12日)	8,326	45	0.3	88.7	33,555
	74期(2021年5月10日)	8,368	45	1.0	88.8	33,376
	75期(2021年6月10日)	8,466	45	1.7	89.4	32,550
	76期(2021年7月12日)	8,295	45	△1.5	90.3	31,241
第14 作成期	77期(2021年8月10日)	8,252	45	0.0	90.3	30,613
	78期(2021年9月10日)	8,345	45	1.7	88.7	30,511
	79期(2021年10月11日)	8,320	45	0.2	91.7	30,014
	80期(2021年11月10日)	8,444	45	2.0	91.6	29,880
	81期(2021年12月10日)	8,312	45	△1.0	87.6	28,776
	82期(2022年1月11日)	8,531	45	3.2	88.6	29,161
第15 作成期	83期(2022年2月10日)	8,400	45	△1.0	87.7	28,421
	84期(2022年3月10日)	8,237	45	△1.4	88.3	27,615
	85期(2022年4月11日)	8,817	45	7.6	91.4	29,033
	86期(2022年5月10日)	8,858	45	1.0	89.2	28,745
	87期(2022年6月10日)	9,070	45	2.9	90.8	29,331
	88期(2022年7月11日)	9,047	45	0.2	90.4	29,213
第16 作成期	89期(2022年8月10日)	8,948	45	△0.6	88.9	28,880
	90期(2022年9月12日)	9,470	45	6.3	88.7	30,673
	91期(2022年10月11日)	9,292	45	△1.4	86.6	30,048
	92期(2022年11月10日)	9,446	45	2.1	90.8	30,640
	93期(2022年12月12日)	8,745	45	△6.9	90.3	28,104
	94期(2023年1月10日)	8,420	45	△3.2	92.1	27,190

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
第89期	(期 首) 2022年7月11日	円 9,047	%	—	% 90.4
	7月末	8,932		△1.3	91.3
	(期 末) 2022年8月10日	8,993		△0.6	88.9
第90期	(期 首) 2022年8月10日	8,948		—	88.9
	8月末	9,223		3.1	87.0
	(期 末) 2022年9月12日	9,515		6.3	88.7
第91期	(期 首) 2022年9月12日	9,470		—	88.7
	9月末	9,374		△1.0	86.3
	(期 末) 2022年10月11日	9,337		△1.4	86.6
第92期	(期 首) 2022年10月11日	9,292		—	86.6
	10月末	9,481		2.0	91.4
	(期 末) 2022年11月10日	9,491		2.1	90.8
第93期	(期 首) 2022年11月10日	9,446		—	90.8
	11月末	8,981		△4.9	88.4
	(期 末) 2022年12月12日	8,790		△6.9	90.3
第94期	(期 首) 2022年12月12日	8,745		—	90.3
	12月末	8,451		△3.4	91.9
	(期 末) 2023年1月10日	8,465		△3.2	92.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
	円	円	%	%	百万円
12期（2021年1月12日）	11,303	0	7.8	91.8	11,505
13期（2021年7月12日）	11,831	0	4.7	90.5	10,153
14期（2022年1月11日）	12,568	0	6.2	88.8	9,823
15期（2022年7月11日）	13,752	0	9.4	90.5	9,824
16期（2023年1月10日）	13,179	0	△4.2	92.3	9,155

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
(期 首)	円		%	%
2022年7月11日	13,752		—	90.5
7月末	13,576		△1.3	91.3
8月末	14,091		2.5	87.2
9月末	14,389		4.6	86.6
10月末	14,625		6.3	91.8
11月末	13,916		1.2	88.9
12月末	13,158		△4.3	92.6
(期 末)				
2023年1月10日	13,179		△4.2	92.3

(注1) 騰落率は期首比です。

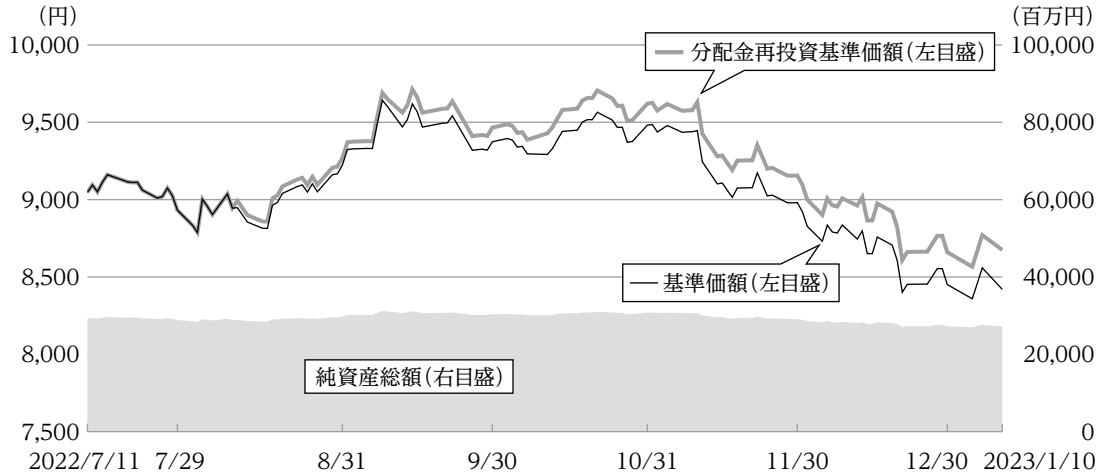
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

運用経過

（毎月決算型）

基準価額等の推移について

（2022年7月12日～2023年1月10日）



第 89 期 首	9,047円
第 94 期 末	8,420円（既払分配金270円）
騰 落 率	-4.1%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因

・インドルピーが対円で下落したこと。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について

（2022年7月12日～2023年1月10日）



第16期首	13,752円
第16期末	13,179円（既払分配金0円）
騰落率	-4.2%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・インドルピーが対円で下落したこと。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは当（作成）期を通じて概ね横ばいで推移しました。当（作成）期初から2022年9月上旬にかけて、インフレ鈍化によりインド準備銀行（RBI、中央銀行）の利上げペースが緩やかになるとの観測が浮上したことで、10年国債利回りは一時低下（価格は上昇）しました。しかし、9月中旬以降にインフレが再び加速したことや、インド国債の国際的な債券インデックスへの組入れが見送られたことで、当（作成）期末にむけて10年国債利回りは上昇しました。また、資金需要の増加、RBIによる為替介入、政府預金残高の季節要因による上昇など、過剰流動

性の低下を背景に短期債の利回りが大幅に上昇し、10年債との利回り差が縮小しました。

為替市場

当（作成）期を通じて米ドル高インドルピー安基調で推移しました。米連邦準備制度理事会（FRB）による積極的な金融引き締めにより、対主要通貨での米ドル高が進行する一方で、経常収支悪化懸念などがルピーの下押し材料となりました。また、日銀が2022年9月、10月と大規模な米ドル売り円買い介入を実施したことを受けて、円高米ドル安が急速に進んだことから、ルピーは対円でも下落しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、金利上昇に備えるデュレーション戦略を継続し、短期債を購入しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

（毎月決算型）

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2022年7月12日 ～2022年8月10日	2022年8月11日 ～2022年9月12日	2022年9月13日 ～2022年10月11日	2022年10月12日 ～2022年11月10日	2022年11月11日 ～2022年12月12日	2022年12月13日 ～2023年1月10日
当期分配金 (円)	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	0.500	0.473	0.482	0.474	0.512	0.532
当期の収益 (円)	32	45	33	45	36	33
当期の収益以外 (円)	12	—	11	—	8	11
翌期繰越分配対象額 (円)	736	1,054	1,043	1,047	1,039	1,027

（年2回決算型）

項目	第16期
	2022年7月12日 ～2023年1月10日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,040

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

インフレ率が鈍化しつつあるものの、依然として高水準であることから、RBIのインフレ抑制を優先する姿勢は維持されと考えられます。一方で、インド経済は好調な銀行貸出が示すように資金需要が旺盛であることや、設備稼働率が改善傾向にあることなどから底堅い成長が見込まれています。このような局面では社債の発行が増える傾向となることから、一時的に対国債スプレッドが拡大すると見ており、当面は短期債に投資妙味があると考えています。

引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

（2022年7月12日～2023年1月10日）

項目	第89期～第94期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	77円	0.849%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,073円です。
（投信会社）	(38)	(0.414)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(38)	(0.414)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.023	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他1）	(0)	(0.003)	インドの税務代理人に対する手数料等
（その他2）	(0)	(0.002)	納税に係る費用
合計	79	0.872	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

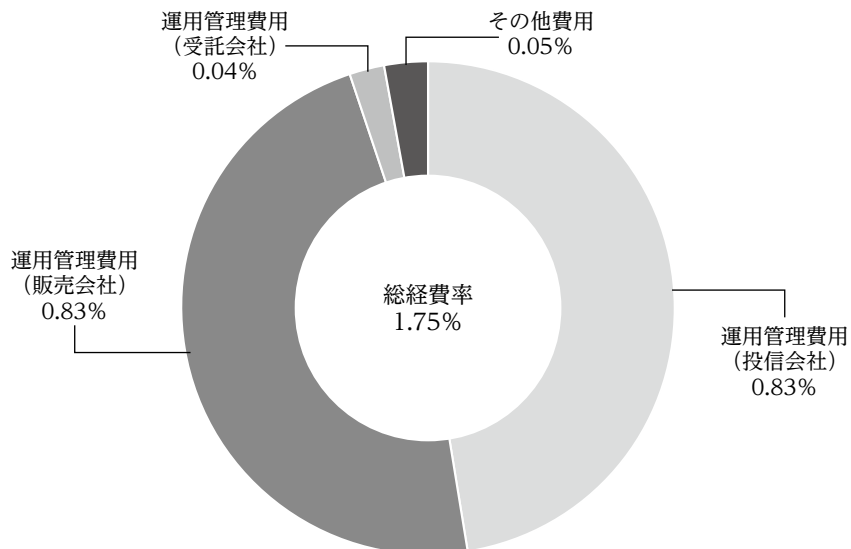
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

売買及び取引の状況

（2022年7月12日から2023年1月10日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 89 期 ～ 第 94 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 452, 425	千円 735, 238	千口 1, 140, 048	千円 1, 845, 741

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2022年7月12日から2023年1月10日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2023年1月10日現在）

親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第88期末)	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 18, 579, 131	千口 17, 891, 508	千円 27, 374, 007

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2023年1月10日現在の受益権総口数は、23,930,839千口です。

投資信託財産の構成

（2023年1月10日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第94期末)	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 27, 374, 007	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14, 470	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	27, 388, 477	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（35,209,177千円）の投資信託財産総額（36,623,203千円）に対する比率は96.1%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=131.85円、1インドルピー=1.61円です。

特定資産の価格等の調査

（2022年7月12日から2023年1月10日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2022年8月10日)	(2022年9月12日)	(2022年10月11日)	(2022年11月10日)	(2022年12月12日)	(2023年1月10日)現在
項 目	第 89 期末	第 90 期末	第 91 期末	第 92 期末	第 93 期末	第 94 期末
(A) 資 産	29,118,922,226円	30,915,513,796円	30,374,039,442円	30,932,567,714円	28,572,841,681円	27,388,477,281円
コール・ローン等	21,308,893	45,396,260	64,081,214	62,937,062	27,042,743	9,566,968
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	29,066,803,998	30,864,722,186	30,236,054,147	30,829,792,833	28,293,686,454	27,374,007,784
未 収 入 金	30,809,335	5,395,350	73,904,081	39,837,819	252,112,484	4,902,529
(B) 負 債	238,140,795	242,182,761	325,063,436	292,082,610	467,957,315	197,942,535
未 払 収 益 分 配 金	145,242,549	145,749,817	145,520,808	145,961,714	144,622,746	145,321,134
未 払 解 約 金	52,118,228	50,791,610	137,985,295	102,774,881	279,155,227	14,469,497
未 払 信 託 報 酬	40,613,187	45,290,984	41,045,718	42,667,636	43,323,177	37,134,374
未 払 利 息	61	133	187	181	79	28
そ の 他 未 払 費 用	166,770	350,217	511,428	678,198	856,086	1,017,502
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	28,880,781,431	30,673,331,035	30,048,976,006	30,640,485,104	28,104,884,366	27,190,534,746
元 本	32,276,122,010	32,388,848,293	32,337,957,452	32,435,936,624	32,138,388,065	32,293,585,384
次 期 繰 越 損 益 金	△ 3,395,340,579	△ 1,715,517,258	△ 2,288,981,446	△ 1,795,451,520	△ 4,033,503,699	△ 5,103,050,638
(D) 受 益 権 総 口 数	32,276,122,010口	32,388,848,293口	32,337,957,452口	32,435,936,624口	32,138,388,065口	32,293,585,384口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	8,948円	9,470円	9,292円	9,446円	8,745円	8,420円

(注1) 元本の状況

当ファンドの第89期首元本額は32,290,476,457円、第89～94期中追加設定元本額は2,465,760,514円、第89～94期中一部解約元本額は2,462,651,587円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第89期0.8948円、第90期0.9470円、第91期0.9292円、第92期0.9446円、第93期0.8745円、第94期0.8420円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

第89期（自2022年7月12日至2022年8月10日）、第92期（自2022年10月12日至2022年11月10日）
 第90期（自2022年8月11日至2022年9月12日）、第93期（自2022年11月11日至2022年12月12日）
 第91期（自2022年9月13日至2022年10月11日）、第94期（自2022年12月13日至2023年1月10日）

項目	第 89 期	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,275円	△ 2,555円	△ 3,457円	△ 5,935円	△ 3,842円	△ 1,549円
支 払 利 息	△ 4,275	△ 2,555	△ 3,457	△ 5,935	△ 3,842	△ 1,549
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 132,580,948	1,871,467,088	△ 388,979,316	679,765,723	△ 2,057,130,338	△ 864,364,554
売 買 益	3,987,223	1,882,179,359	4,024,461	689,458,885	29,738,204	2,272,224
売 買 損	△ 136,568,171	△ 10,712,271	△ 393,003,777	△ 9,693,162	△ 2,086,868,542	△ 866,636,778
(C) 信 託 報 酬 等	△ 40,779,957	△ 45,474,431	△ 41,206,929	△ 42,834,406	△ 43,501,065	△ 37,295,790
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 173,365,180	1,825,990,102	△ 430,189,702	636,925,382	△ 2,100,635,245	△ 901,661,893
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	324,170,206	46,561,191	1,704,343,165	1,149,304,258	1,610,400,102	△ 603,834,522
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,400,903,056	△ 3,442,318,734	△ 3,417,614,101	△ 3,435,719,446	△ 3,398,645,810	△ 3,452,233,089
(配 当 等 相 当 額)	(1,712,036,689)	(1,686,895,037)	(1,706,212,633)	(1,705,578,620)	(1,708,554,223)	(1,703,535,569)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,112,939,745)	(△ 5,129,213,771)	(△ 5,123,826,734)	(△ 5,141,298,066)	(△ 5,107,200,033)	(△ 5,155,768,658)
(G) 計 (D+E+F)	△ 3,250,098,030	△ 1,569,767,441	△ 2,143,460,638	△ 1,649,489,806	△ 3,888,880,953	△ 4,957,729,504
(H) 収 益 分 配 金	△ 145,242,549	△ 145,749,817	△ 145,520,808	△ 145,961,714	△ 144,622,746	△ 145,321,134
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 3,395,340,579	△ 1,715,517,258	△ 2,288,981,446	△ 1,795,451,520	△ 4,033,503,699	△ 5,103,050,638
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,441,871,770	△ 3,442,318,734	△ 3,454,180,981	△ 3,435,719,446	△ 3,427,044,238	△ 3,452,233,089
(配 当 等 相 当 額)	(1,672,232,042)	(1,687,943,931)	(1,670,646,846)	(1,707,261,147)	(1,681,073,376)	(1,704,255,542)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,114,103,812)	(△ 5,130,262,665)	(△ 5,124,827,827)	(△ 5,142,980,593)	(△ 5,108,117,614)	(△ 5,156,488,631)
分 配 準 備 積 立 金	704,368,438	1,726,801,476	1,704,343,165	1,689,323,686	1,658,513,654	1,614,123,350
繰 越 損 益 金	△ 657,837,247	-	△ 539,143,630	△ 49,055,760	△ 2,264,973,115	△ 3,264,940,899

- (注 1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注 2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注 3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (注 4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
 (注 5) 分配金の計算過程

第89期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(104,273,835円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,713,200,756円)および分配準備積立金(704,368,438円)より、分配対象収益は2,521,843,029円(10,000口当たり781円)であり、うち145,242,549円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第90期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(160,414,630円)、費用控除後の有価証券売買等損益(1,013,676,907円)、信託約款に規定する収益調整金(1,687,943,931円)および分配準備積立金(698,459,756円)より、分配対象収益は3,560,495,224円(10,000口当たり1,099円)であり、うち145,749,817円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第91期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(108,953,928円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,707,213,726円)および分配準備積立金(1,704,343,165円)より、分配対象収益は3,520,510,819円(10,000口当たり1,088円)であり、うち145,520,808円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第92期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(154,650,699円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,707,261,147円)および分配準備積立金(1,680,634,701円)より、分配対象収益は3,542,546,547円(10,000口当たり1,092円)であり、うち145,961,714円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第93期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(116,224,318円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,709,471,804円)および分配準備積立金(1,658,513,654円)より、分配対象収益は3,484,209,776円(10,000口当たり1,084円)であり、うち144,622,746円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第94期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(106,956,110円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,704,255,542円)および分配準備積立金(1,652,488,374円)より、分配対象収益は3,463,700,026円(10,000口当たり1,072円)であり、うち145,321,134円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決算期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
1万口当たり分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

- 信託期間を10年延長し、2035年1月10日までとするため、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日：2022年10月7日)

1万口当たりの費用明細

（2022年7月12日～2023年1月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	119円	0.849%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、13,959円です。
（投信会社）	（ 58）	（0.414）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 58）	（0.414）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.030	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 2）	（0.015）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 1）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	（ 1）	（0.006）	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他1）	（ 0）	（0.003）	インドの税務代理人に対する手数料等
（その他2）	（ 0）	（0.002）	納税に係る費用
合計	123	0.879	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

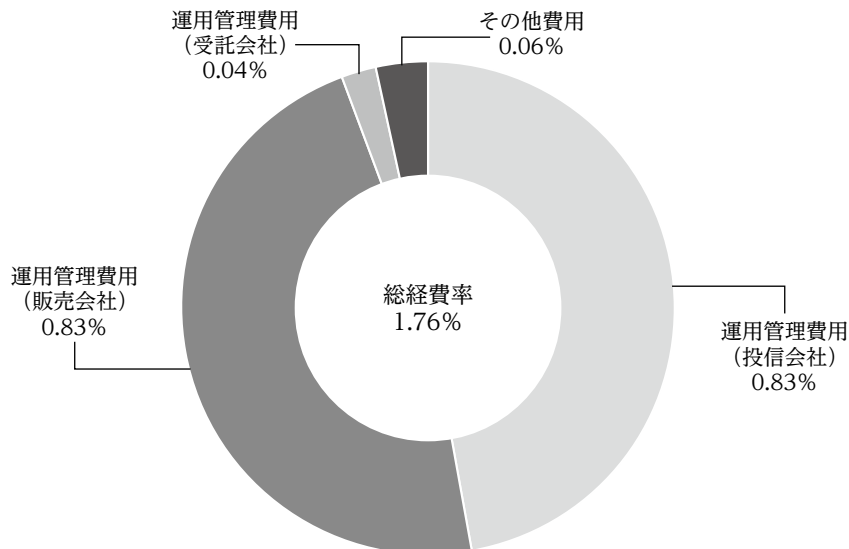
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）

売買及び取引の状況

（2022年7月12日から2023年1月10日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	226,508	372,559	447,618	720,059

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2022年7月12日から2023年1月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2023年1月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	6,260,440	6,039,331	9,240,177

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2023年1月10日現在の受益権総口数は、23,930,839千口です。

投資信託財産の構成

（2023年1月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	9,240,177	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,693	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	9,245,870	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（35,209,177千円）の投資信託財産総額（36,623,203千円）に対する比率は96.1%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=131.85円、1インドルピー=1.61円です。

特定資産の価格等の調査

（2022年7月12日から2023年1月10日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年1月10日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,245,870,700円
コール・ローン等	516,418
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	9,240,177,349
未 収 入 金	5,176,933
(B) 負 債	90,369,694
未 払 解 約 金	5,693,351
未 払 信 託 報 酬	83,658,560
未 払 利 息	1
そ の 他 未 払 費 用	1,017,782
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	9,155,501,006
元 本	6,947,093,988
次 期 繰 越 損 益 金	2,208,407,018
(D) 受 益 権 総 口 数	6,947,093,988口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,179円

- (注1) 元本の状況
 期首元本額 7,144,422,910円
 期中追加設定元本額 465,849,280円
 期中一部解約元本額 663,178,202円
- (注2) 1口当たり純資産額は1.3179円です。
- (注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2022年7月12日 至2023年1月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 5,019円
支 払 利 息	△ 5,019
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 335,040,939
売 買 益	18,440,666
売 買 損	△ 353,481,605
(C) 信 託 報 酬 等	△ 84,676,342
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 419,722,300
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,039,965,270
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	588,164,048
(配 当 等 相 当 額)	(1,236,165,972)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 648,001,924)
(G) 計 (D + E + F)	2,208,407,018
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	2,208,407,018
追 加 信 託 差 損 益 金	588,164,048
(配 当 等 相 当 額)	(1,238,094,721)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 649,930,673)
分 配 準 備 積 立 金	2,263,749,522
繰 越 損 益 金	△ 643,506,552

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
- (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
- (注5) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(223,784,252円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,238,094,721円)および分配準備積立金(2,039,965,270円)より、分配対象収益は3,501,844,243円(10,000口当たり5,040円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

- 信託期間を10年延長し、2035年1月10日までとするため、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日：2022年10月7日)

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日：2023年1月10日）
（計算期間：2022年1月12日～2023年1月10日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第8期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
4期(2019年1月10日)	円 11,163	% △ 7.5	% 87.4	百万円 76,725
5期(2020年1月10日)	12,259	9.8	94.2	75,199
6期(2021年1月12日)	12,707	3.7	91.0	47,218
7期(2022年1月11日)	14,352	12.9	88.0	39,268
8期(2023年1月10日)	15,300	6.6	91.5	36,613

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率
(期首) 2022年1月11日	円 14,352	% —	% 88.0
1月末	14,169	△ 1.3	87.1
2月末	14,262	△ 0.6	88.2
3月末	14,994	4.5	88.0
4月末	15,491	7.9	87.8
5月末	15,131	5.4	90.0
6月末	15,822	10.2	88.9
7月末	15,636	8.9	91.2
8月末	16,252	13.2	87.0
9月末	16,618	15.8	86.2
10月末	16,913	17.8	91.3
11月末	16,119	12.3	88.3
12月末	15,268	6.4	91.8
(期末) 2023年1月10日	15,300	6.6	91.5

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額の推移について

(2022年1月12日～2023年1月10日)



第 8 期 首	14,352円
第 8 期 末	15,300円
騰 落 率	6.6%

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



- ・債券のクーポン収入 (利金)。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

投資環境について

インド債券市場

期初から2022年6月中旬にかけてインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）傾向となりました。米連邦準備制度理事会（FRB）が2022年1月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において3月の利上げ開始を強く示唆したことを受けて米国債利回りが上昇し、世界的に金利上昇やインフレが加速したことで、インド国債利回りも上昇しました。インド準備銀行（RBI、中央銀行）は5月に緊急の金融政策決定会合を開催し、3年9ヵ月ぶりに政策金利の引上げが決定されたことや、州政府債の発行増加による需給悪化も金利上昇要因となりました。

9月上旬にかけては、インフレ鈍化によりRBIの利上げペースが緩やかになるとの観測が浮上したことで、10年国債利回りは一時低下に転じました。しかし、9月中旬以降にインフレが再び加速したことや、インド国債の国際的な

債券インデックスへの組入れが見送られたことで、期末にかけて10年国債利回りは上昇しました。また、資金需要の増加、RBIによる為替介入、政府預金残高の季節要因による上昇など、過剰流動性の低下を背景に短期債の利回りが大幅に上昇し、10年債との利回り差が縮小しました。

為替市場

インドルピーは、期初から2022年6月にかけて原油高による経常収支悪化懸念などを背景に対米ドルで下落しました。原油価格は6月以降下落に転じたものの、為替市場では11月上旬まで米ドル高が進行したことから、ルピーは対米ドルで下落し、通期でもルピー安米ドル高となりました。一方、日米の金融政策の方向性の違いなどから円安米ドル高が進行したことで、通期でルピー高円安となりました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、

個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当期は、金利上昇に備えて変動利付債や短期債を購入し、デュレーションを短期化しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

今後の運用方針について

インフレ率が鈍化しつつあるものの、依然として高水準であることから、RBIのインフレ抑制を優先する姿勢は維持されと考えられます。一方で、インド経済は好調な銀行貸出が示すように資金需要が旺盛であることや、設備稼働率が改善傾向にあることなどから底堅い成長が見込まれています。このような局面では社債の発行が増える傾向となることから、一時的に

対国債スプレッドが拡大すると見ており、当面は短期債に投資妙味があると考えています。

引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

(2022年1月12日～2023年1月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	6円	0.036%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、15,556円です。
(保管費用)	(5)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(1)	(0.004)	インドの税務代理人に対する手数料等
(その他2)	(0)	(0.002)	納税に係る費用
合計	6	0.036	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買及び取引の状況

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

公社債

			買付額	売付額
			千インドルピー	千インドルピー
外 国	イ ン ド	国債証券	1,091,102	2,833,275
		特殊債券	2,747,428	1,470,566 (25,000)
		社債券（投資法人債券を含む）	3,574,723	1,910,876 (1,746,026)

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2023年1月10日現在)

公社債

(A) 種類別開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
イ ン ド	千インドルピー 20,590,000	千インドルピー 20,800,903	千円 33,489,454	% 91.5	% 4.4	% 44.4	% 12.6	% 34.5
合 計	20,590,000	20,800,903	33,489,454	91.5	4.4	44.4	12.6	34.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) 一印は組入れなしです。

(注5) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は22.7%です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

銘 柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国 債 証 券	6.64% INDIA GOVT BOND	6.64	500,000	470,500	757,505	2035/06/16
	7.26% INDIA GOVT BOND	7.26	250,000	248,700	400,407	2032/08/22
	7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	1,200,000	1,216,800	1,959,048	2033/06/17
	7.68% INDIA GOVT BOND	7.68	19,000	19,161	30,850	2023/12/15
	7.88% INDIA GOVT	7.88	10,000	10,318	16,612	2030/03/19
	INDIA GOVERNMENT BOND	7.42	3,100,000	3,098,795	4,989,060	2033/09/22
特 殊 債 券 (除く金融債)	5.44% NABARD	5.44	500,000	489,452	788,018	2024/02/05
	6.4% NABARD	6.4	500,000	496,647	799,601	2023/07/31
	6.65% HOUSING & URBAN DE	6.65	750,000	746,955	1,202,597	2023/06/15
	6.85% NABARD	6.85	250,000	241,013	388,031	2031/03/21
	7.25% NABARD	7.25	250,000	247,802	398,961	2025/08/01
	7.25% SMALL IND DEV BNK	7.25	250,000	247,867	399,065	2025/07/31
	7.54% SMALL IND DEV BNK	7.54	250,000	249,794	402,169	2026/01/12
	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	502,133	808,435	2028/11/28
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	102,706	165,357	2025/03/13
9.5% EXPORT-IMPORT BK IN	9.5	250,000	254,179	409,228	2023/12/04	

銘柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	249,708	402,031	2029/08/13
	7.6% AXIS BANK LTD	7.6	1,250,000	1,248,255	2,009,690	2023/10/20
	7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	350,624	564,504	2026/08/14
	7.7% NATL HIGHWAYS AUTH	7.7	550,000	553,867	891,725	2029/09/13
	7.95% SIKKA PORTS & TERM	7.95	1,000,000	1,005,572	1,618,970	2026/10/28
	8.12% NHPC LTD	8.12	1,250,000	1,293,076	2,081,852	2029/03/22
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	50,000	51,327	82,637	2026/03/25
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	103,444	166,545	2027/03/25
	8.23% INDIAN RAILWAY FIN	8.23	250,000	258,791	416,653	2029/03/29
	8.23% PUNJAB NATIONAL BK	8.23	75,000	75,608	121,730	2025/02/09
	8.27% RURAL ELECTRIFICAT	8.27	320,000	324,163	521,903	2025/02/06
	8.3% REC LIMITED	8.3	750,000	783,548	1,261,512	2029/03/23
	8.35% INDIAN RAILWAY FIN	8.35	250,000	260,178	418,887	2029/03/13
	8.37% NATL HIGHWAYS AUTH	8.37	100,000	103,848	167,196	2029/01/20
	8.52% LIC HOUSING FIN	8.52	100,000	101,390	163,238	2025/03/03
	8.6% BHARTI TELECOM LTD	8.6	500,000	500,436	805,702	2024/12/05
	8.78% NHPC	8.78	50,000	50,078	80,626	2023/02/11
	8.83% INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	20,068	32,311	2023/03/25
	8.9508% PIPELINE INFRAS	8.9508	1,050,000	1,066,409	1,716,919	2024/03/22
	9.05% HOUSING DEV FINANC	9.05	500,000	505,053	813,136	2023/11/20
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	409,746	659,692	2024/08/06
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	18,455	29,714	2024/09/22
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	256,741	413,353	2024/09/04
	9.7% COASTAL GUJARAT POW	9.7	1,000,000	1,009,226	1,624,853	2023/08/25
	DME DEVELOPMENT LTD	9.49	150,000	161,203	259,537	2033/03/16
	DME DEVELOPMENT LTD	9.49	150,000	160,619	258,597	2034/03/16
	DME DEVELOPMENT LTD	9.49	150,000	160,819	258,918	2035/03/16
	DME DEVELOPMENT LTD	9.49	150,000	161,119	259,403	2036/03/17
	DME DEVELOPMENT LTD	9.49	150,000	161,175	259,492	2037/03/16
	ICICI HOME FINANCE	7.67	250,000	249,887	402,318	2024/09/27
	SUNDARAM HOME FINANCE	7.89	500,000	503,629	810,843	2024/09/27
合 計					33,489,454	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2023年1月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	33,489,454 千円	91.4 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,133,749	8.6
投 資 信 託 財 産 総 額	36,623,203	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産 (35,209,177千円) の投資信託財産総額 (36,623,203千円) に対する比率は96.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=131.85円、1インドルピー=1.61円です。

特定資産の価格等の調査

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年1月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	36,623,203,190円
コーポレートローン等	2,127,245,445
公社債(評価額)	33,489,454,497
未収入金	40,250,001
未収利息	882,641,701
前払金	12,418,642
前払費用	71,192,904
(B) 負 債	10,083,607
未払解約金	10,079,462
未払利息	4,145
(C) 純資産総額(A-B)	36,613,119,583
元 本	23,930,839,957
次期繰越損益金	12,682,279,626
(D) 受益権総口数	23,930,839,957口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,300円

- (注1) 元本の状況
- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 期首元本額 | 27,360,521,799円 |
| 期中追加設定元本額 | 1,014,526,056円 |
| 期中一部解約元本額 | 4,444,207,898円 |
| 期末における元本の内訳 | |
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) | 17,891,508,356円 |
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型) | 6,039,331,601円 |

(注2) 1口当たり純資産額は1,5300円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2022年1月12日 至2023年1月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,297,820,085円
受 取 利 息	2,299,082,894
支 払 利 息	△ 1,262,809
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	239,010,440
売 買 益	1,652,508,651
売 買 損	△ 1,413,498,211
(C) 信 託 報 酬 等	△ 13,821,753
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,523,008,772
(E) 前期繰越損益金	11,908,137,983
(F) 追加信託差損益金	607,455,531
(G) 解約差損益金	△ 2,356,322,660
(H) 計 (D+E+F+G)	12,682,279,626
次期繰越損益金(H)	12,682,279,626

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。